

事業所名

シュタイナーハウス・モモ

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和7 年

2 月

3 日

法人（事業所）理念		この法人は、発達において気になる乳幼児や発達に障害をもつ児童に対して、世界的に知られるルドルフ・シュタイナーとマリア・モンテッソーリの芸術・作業療法を施し、個々人の個性に基づく発達と自立を支援すると同時に、その保護者に対して育児や教育の相談・助言をおこなうことを目的とする。加えて、これらの実践と研究の成果に基づき、子どもの教育と大人自身の自己教育の在り方を模索する一般市民に対して広く啓蒙活動をおこない、子どもの健全育成及び地域福祉の推進に寄与することを目的とする。またこの法人は、障害者、障害児に対して、教育、療育及び児童福祉法に基づく障害児通所支援事業、障害児相談支援事業及び、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービス事業などをおこない障害者福祉に寄与することを目的とする。			
支援方針		NPO法人シュタイナー&モンテッソーリ・アカデミーでは、一人ひとりの個性と発達段階を考慮する中で、心（知・情・意）・徳・身体を総合的に育むことを支援の柱とする。本療育の方法としては主としてシュタイナー教育の方法を採用し、具体的には、身体活動（バランス運動・スポーツなど）・芸術活動（三原色の水彩画・陶芸など）・体験活動（自然農業・川遊びなど）を通して、個におけるホリスティックな発達を支援していくことを方針とする。			
営業時間		月・火・水・木・金 10:00~18:00 土・学校休業日 9:00~16:00	送迎実施の有無	あり	
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活に必要とされる能力を身に付ける：靴を靴箱に入れる、自分の持ち物の整理・整頓、作業終了後の後片付け、忘れ物をしないなど、自立を支援する。 ・生活リズムを身に付ける：登校調整中の児童には、通所することで、早寝早起き・衣服の調節・屋外での身体活動・食事をきちんと摂取する・ゲームに費やす時間を減らすなどの支援をおこなう。 			
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・感覚過敏を持つ児童の特性を踏まえつつ、学習環境を整え、活動内容を準備して支援をおこなう。 			・頭や目に
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・各児童が苦手意識をもつ学習分野を理解し、無理のない内容を準備し、スモールステップで支援をおこなう。 			
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・身体活動・農作業・陶芸・芸術活動に取り組み、「うつくしい・できた・すごい」など、他児童と感動体験を共にすることにより発語やコミュニケーションをうながしていく。 			
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な年齢の児童や、自分とは異なる意見や考えをもつ異質な他者との関わりを通して、個人の枠を超えて柔軟で多様な人間関係や社会性が身に付くよう支援をおこなう。 			
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発達段階に応じた課題や困りごとへの個別面談や助言をおこなう。 ・共働き家庭への預かりニーズに対応するため、延長支援を提供する。 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の特性や発達特徴・課題などの情報を、園・学校・相談支援事業所などの関係機関に提供・共有し、連携の中で総合的な支援をおこなう。 ・小学校・中学校・高等学校への進学についてのアドバイスや情報提供をおこなう。 	

<p>地域支援・地域連携</p>	<p>・地域の方々が提供する畑を借りて、週2日ほど地域の方々と関わりつつ、児童は農作業をおこなっている。 <small>・本事業</small> 所が行う陶芸などの芸術活動に保護者を含め、地域の方が参加している。</p>	<p>職員の質の向上</p>	<p>・法人内で月1回、支援に関わる知識や技能の向上のための学習会を開催している。 ・県や市が開催する研修会への参加や、サービスの質の向上のための資格取得を促している。</p>
<p>主な行事等</p>	<p>通常の身体・芸術・体験活動に加え、季節の移り変わりを意識したプログラム活動（お正月遊び・節分・ひな祭り・こどもの日・夏祭り・山登り・芸術祭・クリスマスなど）をおこなっている。</p>		